箸蔵寺

こんぴら奥の院



◆箸蔵寺の縁起

真言宗別格本山箸蔵寺は、箸蔵山六〇〇メートルの山頂にあり約二〇〇年の昔、弘法大師がこの地で修行された折、金毘羅大権現のお告げを受け、本尊として箸蔵寺をお開きになりました。以来、杉、桧がうっそうと茂る中に国指定重要文化財の本殿、薬師堂、護摩堂等十余の建物が点在し左甚五郎の弟子の作といわれる彫刻と箸の寺として全国より参拝客が訪れております。また四国別格霊場二十ヶ寺の十五番札所、四国三十六不動霊場第四番札所としても多くのお遍路さんが参拝に訪れております。



◆箸蔵寺の年中行事

修正会	〈一月一日～三日〉 新年の開運等を祈念し特別護摩を一日四回修法する。
星供養	〈旧大晦日・旧正月六日・節分〉
春の大祭	〈四月十二日〉 各種の祈願、恒例の「福餅投げ」を行う。
花まつり	〈旧四月八日〉 お釈迦様御誕生日 終日甘茶御接待
胡瓜加持	〈土用の丑の日〉 きゅうりに病気を封じて全快を祈念する。
箸供養	〈八月四日〉 箸に感謝し供養を行い諸願成就を祈願する。
秋の大祭	〈十一月十二日〉 各種の祈願、恒例の「福餅投げ」を行う。
護摩祈祷	〈毎日朝夕〉〈毎月第三土曜日の午後二時から〉 金毘羅大権現の御宝前で商売繁盛・家内安全・学業成就などを祈願する。

春の櫻、夏の深緑、秋の紅葉、冬の新雪…四季それぞれの表情をお楽しみください。

本坊前の櫻



初夏の本坊



紅葉の石段



雪の境内



春の大祭

真言宗別格本山箸蔵寺は、海抜600mの山頂に位置するため、里の桜が散り始めるころ、厳しい冬を抜け出したのを祝うかのように境内の桜が咲き始めます。そんな中、権現さまの縁日4月12日に、春の大祭が営まれます。杉や檜の深い緑に霞がかかり、桜が点在する風景は、箸蔵寺ならではの風情です。

箸供養

箸蔵寺創建の古事にならい、8月4日を「箸の日」と定め盛大な法要を営みます。猛暑の昼下がりから始められ、うっそうとした緑の中、山伏の吹きならす法螺貝が響き渡り、護摩の火が入れられます。そしてその中に、使用済みの箸を投じ、感謝と祈念をし、最後に「火渡り」を行います。それはまさに生きた信仰の姿です。

秋の大祭

実りの秋と一年の無事を感謝するため、11月12日、紅葉の中、権現さまの縁日にあわせ、秋の大祭が行われます。箸蔵寺の最もにぎやかなお祭で、多くの参詣者を集めています。恒例となった「福餅投げ」では、境内をうめつくすほどの参詣者に向かって、中にクジを入れた大小さまざまな福餅が投げられます。

星供養

箸蔵寺に伝わる最も重要な法要のひとつ、星供養。仏教でいう二種の運のうち、人間の力の及ばない「天運」について開運長久・諸願成就を祈念するもので、星祭ともいわれます。僧侶の総出仕で営まれるこの大法要は、厳しい寒さの中、深夜午前0時から夜を徹しておごそかに執り行われます。



2020.3.5現在

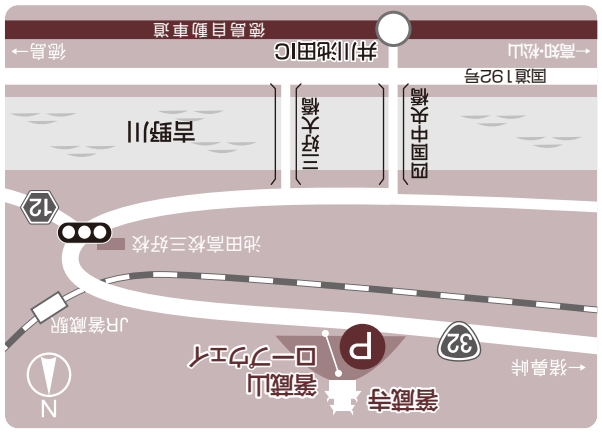
ロープウェイ運賃〔往復〕

毎時15分おきに運行〈所要時間:約4分〉

大　人……1,700円
中高生……1,250円
小　人……850円

ロープウェイ登山口駅へのアクセス

JR箸蔵駅より……徒歩約5分
JR阿波池田駅より……車で約10分
JR阿波池田駅より……バスで約15分
井川池田ICより……車で約5分



アクセスマップ

箸を使う生活のない、〝生きとし生けるもの〟全てを救済する。
この意味が箸蔵寺の名前の由来となっていますが、
何故こんなにも多くの動物たちがいるのでしょうか。

「箸を挙ぐる者、我拝ってこれを救わん」



はしくらじ

箸蔵寺アニマル・ミステリーツアー

Hashikuraji
Animal Mystery Tour

千支や霊獣が待つ
神秘に満ちた古刹へ

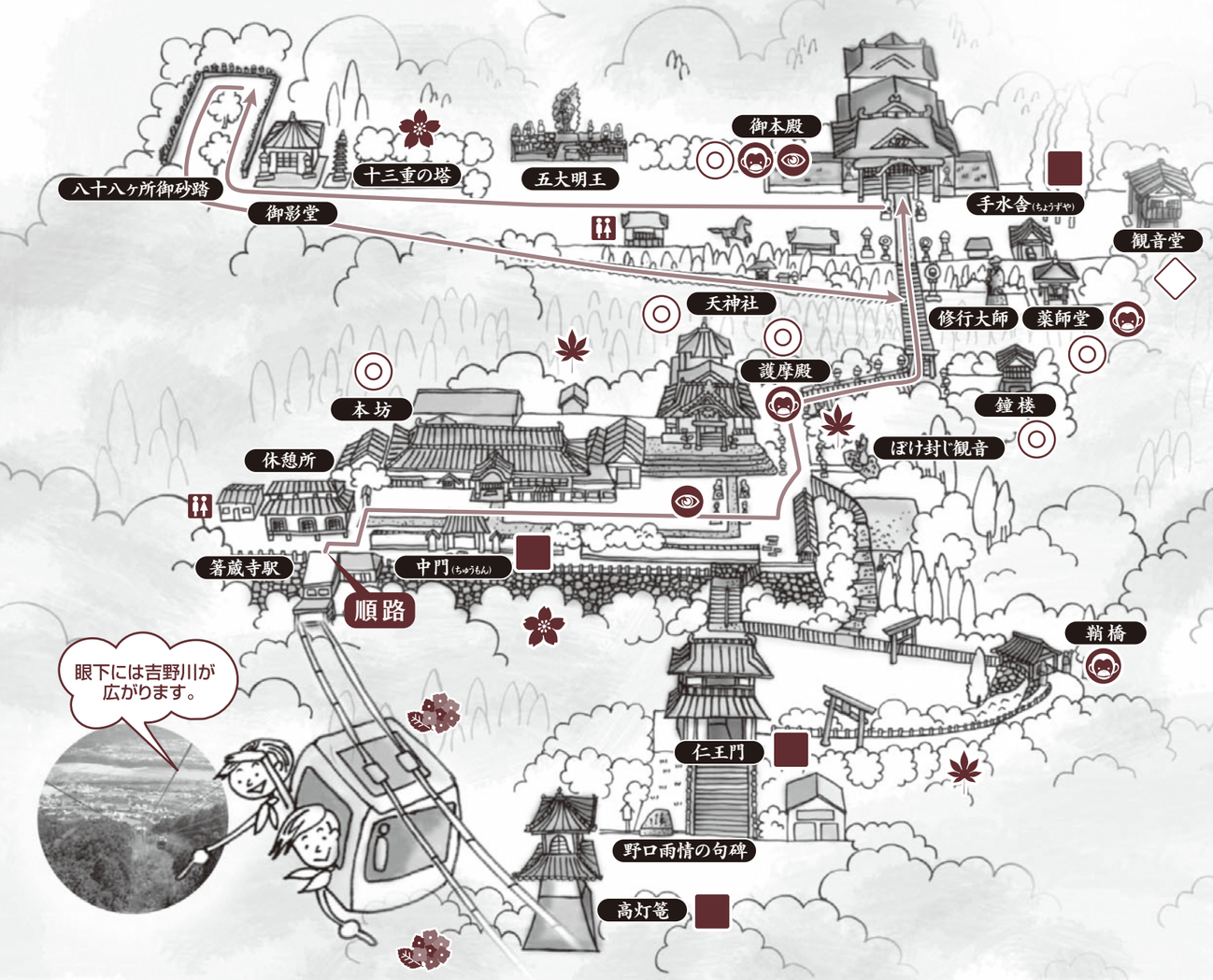
箸蔵寺にまつわる謎に迫る!

箸蔵寺 アニマル・ミステリーマップ

あなたはいくつ見つけられる?

アニマルスポット　桜(春)　国指定重要文化財
ミステリースポット　紫陽花(初夏)　国登録有形文化財
トイレ　紅葉(秋)　県指定有形文化財

国指定重要文化財……6棟
国登録有形文化財……4棟
県指定有形文化財……1棟



箸蔵寺のアニマル!?

箸蔵寺は装飾細部に精緻な動物の彫り物がたくさんあり、今に残る壮麗な代表的建築物として高く評価されています。彫刻の素晴らしさに感動しつつ、動物たちを探してみましょう。

十二支　護摩殿・御本殿

薬師如来を守護する十二神将との繋がりから干支が彫られたとされています。


申(さる)


酉(とり)


午(うま)

霊獣　護摩殿・御本殿

魔除けのシンボルであることから寺院には欠かせない存在です。


龍(りゅう)


獅子(しし)

その他のアニマルたち

箸蔵寺にはほかにもたくさんの動物たちがいます。探してみてね!


箸蔵寺の神馬

箸蔵寺のミステリー!?

箸蔵寺にはまだ解明されていない謎や不思議な逸話がたくさん残っています。

天狗が箸を運んできた…?「箸運び伝説」　御本殿



▲御本殿に掲げられている烏天狗と大天狗の額

かの有名な歌舞伎役者も参拝した箸蔵寺　護摩殿


市川海老蔵・団十郎の名が刻まれた石燈籠▶

御本尊は誰も見たことがない…!?

伝説の職人「左甚五郎(ひだりじんごろう)」仕込みの彫刻?



ガイドと歩く箸蔵寺アニマル・ミステリーツアー

要予約　三好市観光協会へお電話ください
※原則実施日3日前の17:00まで

実施日時　通年

電　話　三好市観光協会
0883-76-0877

ガイド料金　1名様 500円 (大人・子ども同額)
※ロープウェイをご利用の方は別途料金が必要です。

■集　合／箸蔵山ロープウェイ乗り場
(ガイドがお待ちしています。)

【箸蔵山ロープウェイ】
〒778-0020徳島県三好市
池田町州津藤ノ井559-14
TEL0883-72-0818

瞑想体験



要事前予約

真言宗の瞑想法の1つ「月輪観(がちりんかん)」を体験できます。
「お月さま」を使って自身の心と向き合う形の瞑想法です。

[料金]無料　※事前に箸蔵寺(下記)にご予約ください。

[箸蔵寺]〒778-0020徳島県三好市池田町州津蔵谷1006
TEL0883-72-0812／FAX0883-72-5651
http://www.hashikura.or.jp